

# Vectorworks 2022 セットアップガイド

この度はVectorworks 2022ソフトウェアをご購入いただき、誠にありがとうございます。

下記のリンクをクリックしていただくと Vectorworks 2022 ソフトウェアのご利用に関する重要な情報が表示されます。  
インストールする前に必ずお読みください。

## STEP1:インストール前の確認.....3

1. インストール必要条件

## STEP2:インストール手順について.....5

1. シリアル番号について
2. インストールに関するご注意
3. インストール前の準備
4. Vectorworksソフトウェアのインストール

## STEP3:起動について.....10

1. Vectorworksソフトウェアの起動
2. アクティベーションについて (スタンドアロン版)
3. オンラインリソースライブラリ情報の更新
4. ライブラリファイルのインストール
5. 移行マネージャについて
6. 操作マニュアルについて

## STEP4:アンインストールについて.....19

1. Vectorworksソフトウェアのアンインストール

## A. よくある質問.....23

## B. 注意点.....24

1. Vectorworksフォルダのアクセス権

## C. 快適にお使いいただくために.....25

1. グラフィックスコントローラについて
2. Iris、Iris Pro/Intel Iris Plus/Intel Iris Xeでのご使用について
3. シェイドについて
4. マルチビューについて
5. VRAM (ビデオメモリ) について
6. グラフィックスについて
7. リモート環境および仮想マシン
8. OS
9. 動作の最適化
10. プロジェクト共有機能とネットワーク回線の速度
11. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存
12. Redshift動作環境
13. 高解像度ディスプレイについて

<b>D. 各フォルダ/ファイルの役割.....</b>	<b>32</b>
<b>E. 技術情報関連.....</b>	<b>33</b>

## STEP1 : インストール前の確認

Vectorworks 2022 ソフトウェアを快適にご使用いただくために、以下の内容をご確認の上、ソフトウェアのインストールを行ってください。

### 1. インストール必要条件

お使いのパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。条件を満たしていない場合、Vectorworks 2022 が正常に起動しない場合があります。

Vectorworks 2022 を快適にご使用いただくために条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお勧めいたします。  
(2022年6月現在)

#### スタンドアロン版

	Windows	Mac
OS	Win 11 Windows 10 (64bit) ※32bit OSには対応していません。	macOS 12(Monterey) macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina)
	上記以外のOS対応状況については、弊社Webサイト ( <a href="https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html">https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html</a> ) をご確認ください。	

	エントリー	ミドル (推奨)	ハイエンド
目安となるデータの規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>2D図面</li> <li>簡単な3Dモデリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細な2D図面</li> <li>詳細な3Dのモデリング</li> <li>小中規模BIM</li> <li>レンダリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細な2D図面</li> <li>非常に複雑かつ詳細な3Dモデリング</li> <li>大規模BIM</li> <li>レンダリング</li> </ul>
CPU	<ul style="list-style-type: none"> <li>3GHz以上のIntel Core i5 または AMD Ryzen 5 または、それと同等のもの</li> <li>Apple M1以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6コア以上搭載で2GHz以上の Intel Core i7 または AMD Ryzen 7 または、それと同等のもの</li> <li>Apple M1 Pro以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8コア以上搭載で3GHz以上の Intel Core i7 または AMD Ryzen 7 または、それと同等のもの</li> <li>Apple M1 Max以上</li> </ul>
メモリ	8GB以上	16GB以上	32GB以上
グラフィックス	2GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード Mac: Metal GPUFamily1以上 Windows: DirectX 11 互換	4GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード Mac: Metal GPUFamily v4以上 Windows: DirectX 11 互換	8GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード Mac: Metal GPUFamily2以上 Windows: DirectX 11 互換
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CPU内蔵グラフィックスの場合、Iris、Iris Pro/Intel Iris Plus/Intel Iris Xeグラフィックスを推奨します。Intel HD Graphics/Intel UHD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。詳しい情報は、<a href="#">p.25の「2. Iris、Iris Pro/Intel Iris Plus/Intel Iris Xeでのご使用について」</a>をご確認ください。</li> <li>・グラフィックカード、または単体グラフィックスを推奨します。</li> <li>・過去3年間に販売されていたグラフィックカードを推奨します。</li> <li>・マルチビューのすべてのウインドウを異なる表示設定で使用する場合、2GB以上のVRAMを搭載したグラフィックカードが必要です。</li> <li>・大きなファイル容量の場合は4GB以上のVRAMを推奨します。</li> <li>・NVIDIA NVSシリーズ/ATI Radeon HD 4550/Intel GMAは動作対象外です。</li> <li>・Redshiftを利用するレンダリングは、<a href="#">p.30の「12. Redshift動作環境」</a>をご確認ください。</li> </ul>		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライバーは最新にアップデートしてご使用ください。</li> <li>・詳細は各パソコンメーカー、または販売店等へお問い合わせください。</li> </ul>
	HDD	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードディスク空容量 41GB以上（オプションライブラリ31GBを含む）</li> <li>・フラッシュストレージ（SSD）にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。</li> </ul>
	画面解像度	<ul style="list-style-type: none"> <li>推奨1920 x 1080以上（最小1440 x 900） 4K・Retinaディスプレイ対応</li> <li>※ <a href="#">p.31の「13. 高解像度ディスプレイについて」</a>をご確認ください</li> </ul>
インストール可能台数	スタンドアロン版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ライセンスで1ユーザーが使用している2台のパソコンにインストールできます。ただし同時起動はできません。</li> <li>・Vectorworks学生単年度版は1ライセンスで1台のパソコンのみインストールできます。</li> <li>※ 起動にはアクティベーションが必要です。詳しい情報は、<a href="#">p.13の「2. アクティベーションについて（スタンドアロン版）」</a>をご確認ください。</li> </ul>
	ドングル版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数台のパソコンにインストールできます。ただし複数台同時起動はできません。</li> <li>※ 起動には専用のシリアル番号と同梱のハードウェアキー（ドングル）が必要です。</li> </ul>
	ネットワーク版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数台のパソコンにインストールできます。ただし、起動できる台数はご購入いただいたライセンス数の範囲内となります。</li> </ul>
その他	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows、Macの両プラットフォームに対応しています。</li> <li>・ご使用にあたり製品のユーザー登録が必要です。</li> <li>・Vectorworksアカウントの作成、サインインが必要です。</li> <li>・日本語OS環境でご利用ください。</li> <li>・大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。</li> <li>・PDF閲覧のためのPDF閲覧ソフトが必要です。</li> <li>・ヘルプ閲覧のためのブラウザが必要です。</li> <li>・Mac版インストーラーはRosetta 2エミュレーションで動作します。</li> </ul>
	スタンドアロン版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インストール、アクティベーションのためのインターネット接続環境</li> </ul>
	ドングル版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドングル装着のためのUSBポート</li> </ul>
	ネットワーク版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TCP/IP プロトコルの稼働</li> <li>・サーバー/クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境</li> <li>・サーバーとクライアントは同一ネットワーク上で利用</li> </ul>

- ・OSのセキュリティアップデートは、最新のものを適用してご使用ください。
- ・ドングル版は通常販売製品ではありません。
- ・より高速なCPUの使用とメモリ追加によってVectorworks 2022の操作性が向上します。
- ・記載されている情報は 2022 年 6 月現在のものです。最新の情報は、弊社 Web サイトをご確認ください。

<https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html>

- ・ご利用のパソコンの各スペックの確認には、合わせて以下のWebサイトの情報もご参考ください。

[https://www.aanda.co.jp/Support/tips/pc\\_spec.html](https://www.aanda.co.jp/Support/tips/pc_spec.html)

## STEP2 : インストール手順について

インストールの前に [p.3](#) の「STEP1 : インストール前の確認」をご確認ください。

Vectorworks 2022 およびシリアル番号の取得方法については

- スタンドアロン版、ドングル版 : 製品パッケージ内「Vectorworks ご利用の手引き」
- ネットワーク版 : 製品パッケージ内「簡単セットアップ」または「セットアップガイド」

をそれぞれご参照ください。

### 1. シリアル番号について

- シリアル番号は全 24 桁です。  
例 : EHXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX  
BHXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX  
GHXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
- シリアル番号はすべて半角英数字（1 バイト文字）の大文字です。入力時は全角や小文字を使用しないでください。
- シリアル番号はアルファベットの O（オー）と I（アイ）は使用していません。「0」はゼロを、「1」はイチを意味します。
- シリアル番号には「-」（ハイフン）が必要です。

### 2. インストールに関するご注意

Vectorworks ソフトウェアのインストール作業の前に以下の点にご確認ください。

#### 2-1. Vectorworks インストール先のフォルダパスについて

Vectorworks のインストールパスのフォルダ名に 2 バイト（日本語）を使用しないでください。

#### 2-2. パソコンのユーザーアカウントについて

パソコンのユーザーアカウント名に 2 バイト（日本語）を使用しないでください。

Windows の場合は、コントロールパネル > ユーザーアカウントでご確認ください。

Mac の場合は、システム環境設定 > ユーザとグループでご確認ください。

#### 2-3. フォルダのアクセス権限

インストール先ディレクトリ（アプリケーションフォルダなど）がフルアクセス（読み書き可能）であることが必要です。または、同条件を満たしたユーザー権限（アカウント）でログインされていることも必要です。アクセス権限についての詳しい内容は、[p.24](#) の「1-1. フォルダ・ファイルのアクセス権に関する注意点」をご参照ください。

#### 2-4. ハードディスクのフォーマット

次のドライブフォーマットオプションには対応していません。ご注意ください。

UNIX / MS-DOS / 大文字と小文字を区別（Mac）

#### 2-5. ウィルス対策ソフト等

ウィルス対策およびセキュリティ系ソフトウェアが動作している場合には、すべてを停止した状態でインストールを行ってください。

### 3. インストール前の準備

インストーラーを起動する前に以下をご確認ください。

- パソコンのシステム時計を正確に合わせてください。
- パソコンを LAN に接続し、インターネットに接続できるかご確認ください。
- パソコンの言語で「日本語」を選択してください。
- プリンタードライバーをインストールしてください。
- ユーザーアカウント名に 1 バイト（半角英数字）が使用されていることをご確認ください。2 バイト（日本語文字）の場合は、1 バイトへ変更してください。
- グラフィックドライバーを最新バージョンへアップデートしてください。（Windows）
- ドングル版の場合は、事前にハードウェアキー（ドングル）を USB ポートに差し込んでください。

### 4. Vectorworks ソフトウェアのインストール

Vectorworks ソフトウェアのインストール方法をご案内いたします。

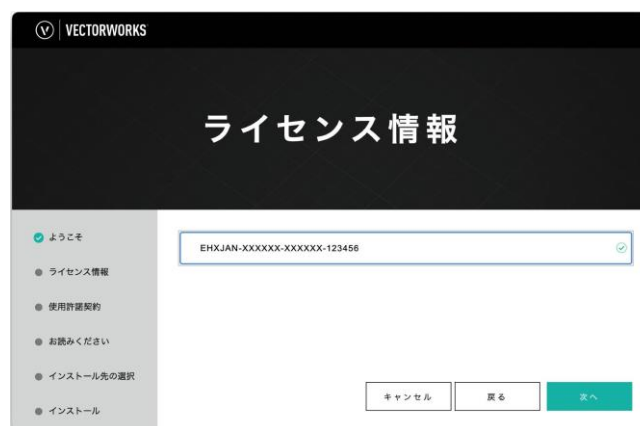
- ※ **ドングル版に関しては、Vectorworksソフトウェアをインストールするとドングルドライバーが自動的にインストールされます。macOS 13 (Ventura)、macOS 12 (Monterey)でご利用される方は「ドングルドライバー」フォルダの「お読みください.pdf」をご覧ください。**
- ※ **ネットワーク版に関しては別途、ライセンス管理プログラムのインストールが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーに添付の「セットアップガイド.pdf」および「リファレンスガイド.pdf」をご覧ください。**

1. 所定の方法でVectorworksインストールプログラムをローカルフォルダへダウンロードしてください。ダウンロードが完了しましたら、Windowsの場合は任意の場所へ展開（解凍）して開き、Macの場合はそのまま開きます。
  - ※ **ネットワーク版に関しては別途、ライセンス管理プログラムのインストールが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーに添付の「セットアップガイド.pdf」および「リファレンスガイド.pdf」をご覧ください。**
  - ※ **インストールメディア（USB）をご利用の場合はインストールプログラムのダウンロード、ローカルフォルダへの移動および、展開（解凍）の必要はありません。**
2. フォルダ内の「VW2022インストーラー」をダブルクリックします。
  - ※ **Windows は「VW2022 インストーラー.exe」、Mac は「VW2022 インストーラー.app」をダブルクリックしてください。拡張子は OS の設定により表示されない場合があります。**
  - ※ **Windows はインストーラーをダブルクリックしてから起動までに数分を要する場合がございます。インストーラーダブルクリック後は起動するまでそのまましばらくお待ちください。**

3. インストールダイアログボックスが表示されます。「続行」ボタンをクリックします。



4. シリアル番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



※ シリアル番号はハイフン込み、英数半角大文字で正しく入力してください。

5. Vectorworks使用許諾契約をよくお読みいただき、同意できる場合は「使用許諾契約の全条項に同意します。」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。



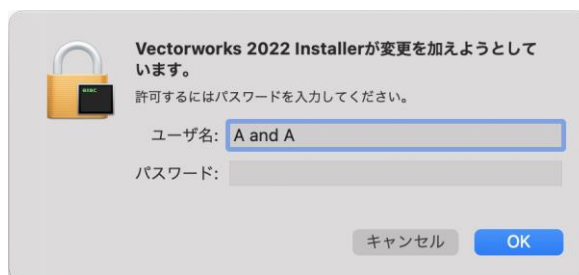
6. 「お読みください」の記載内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



7. インストール先のディレクトリを選択し、続けてログデータの収集/送信について同意または拒否を選択します。選択後、「次へ」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。



- 「ログデータの収集と送信を許可して、Vectorworks のユーザーエクスペリエンスと機能向上に協力します。」にチェックを入れると、Vectorworks のクラッシュ時に詳細情報と詳細な使用パターンがインターネットを通じて送信されます。「今回は協力しません。ログデータの収集/送信はしません。」にチェックを入れると、エラー報告は送信されません。どちらの場合も図面データやユーザーの個人情報が転送されることはありません。いずれも環境設定から設定を変更することができます。
- Mac はユーザ名とパスワードを求められることがあります。ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。





## 8. インストール中です。



## 9. インストール完了です。「完了」ボタンをクリックするとインストーラーが終了します。



- 「Vectorworks の起動」にチェックを入れると、Vectorworks ソフトウェアが自動的に起動します。

## STEP3 : 起動について

Vectorworks ソフトウェアをインストール後の起動についてご案内いたします。

### 1. Vectorworks ソフトウェアの起動

#### 1-1. スタンドアロン版、ドングル版

Vectorworks ソフトウェアを起動します。インストール時にインストール先を指定しない場合は、以下の階層にインストールされています。

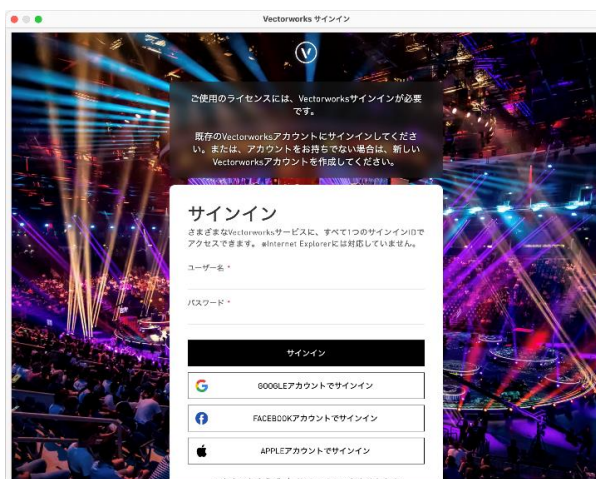
Windows : 起動ディスク > 「Program Files」フォルダ > VW2022

Mac : 起動ディスク > 「アプリケーション」フォルダ > VW2022

#### ○ 起動手順

1. Vectorworks 2022 アイコンをダブルクリックします。

Vectorworks 2022 が初めて起動されると、Vectorworks サインインダイアログボックスが開きます。



2. Vectorworks アカウントをお持ちの方は、ユーザー名とパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックします。アカウントをお持ちでない場合は、「アカウントを作成」から新しいアカウントを作成してください。または各連携アカウントからサインインしてください。

3. アンケート入力画面が表示されます。アンケートをご記入いただき、「送信」ボタンをクリックします。

スタンドアロン版は続けて以下の操作を行います：

4. アクティベーションの確認ダイアログボックスが開きます。
5. 「アクティベート」ボタンをクリックすると、Vectorworks ソフトウェアが起動します。

## 1-2. ネットワーク版

Vectorworks 2022 ネットワーク版のクライアントソフトウェアを起動すると、サーバーソフトウェアと通信を行います。このため、起動にはサーバー用コンピューターとのネットワーク接続が必要です。

※ **ソフトウェアのライセンスを「持ち出し」している場合、期間内はネットワークに接続する必要はありません。**

1. Vectorworks ソフトウェアを起動します。インストール時にインストール先を指定しない場合は、以下の階層にインストールされています。

Windows : 起動ディスク > 「Program Files」フォルダ > VW2022\_Net

Mac : 起動ディスク > 「アプリケーション」フォルダ > VW2022\_Net

### ○ 起動手順

1. Vectorworks 2022 アイコンをダブルクリックします。
2. ログイン設定ダイアログボックスが開きます。
3. ログイン設定を行います。



### ① : プライマリサーバー

ライセンス管理ソフトウェアを起動しているサーバー用コンピューターの情報を入力します。

①-A : サーバー用コンピューターの IP アドレスを入力します。例:192.168.3.20

①-B : サーバー用コンピューターのポート番号を入力します。

デフォルトは 5053 です。

ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ時に変更している場合は、

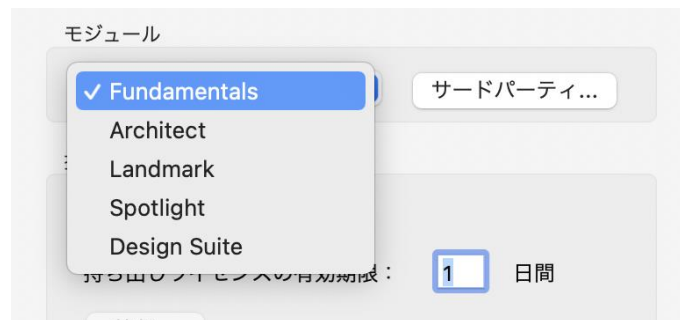
セットアップ時に控えておいた変更後の番号を入力してください。

- ※ **設定により、一時的にネットワークから切り離された環境で使用することもできますが、「持ち出し」機能を使用するには、サーバー用コンピューターの IP アドレスが固定されている必要があります。**
- ※ **ログイン設定ダイアログボックスの各種設定の詳細について、詳しくは Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド.pdf をご覧ください。**

## ②：モジュール設定

使用するモジュールの選択を行います。

モジュールをクリックすると、プルダウンリストが表示されます。



必要なモジュールを選択します。

何も選択しない状態で「ログイン」ボタンをクリックすると、Fundamentals のみで起動します。

各モジュールは、重複して選択することはできません。

- ※ **利用できるのはライセンスをお持ちの製品のみです。ライセンスをお持ちでない製品は利用できません。**
- ※ **クライアントで使用できる作業画面は、使用するモジュールによって異なります。初回起動時に警告が出る場合がありますが、そのまま起動してください。**

モジュール	使用できる作業画面
Fundamentals	Fundamentals
Architect	Fundamentals 、 Architect 、 Architect-BIM
Landmark	Fundamentals、Landmark
Spotlight	Fundamentals、Spotlight
Design Suite	すべて

4. 「ログイン」ボタンをクリックします。Vectorworks ソフトウェアが正常にサーバー用コンピューターと通信し、ライセンス管理ソフトウェアが起動を許可すると、初回起動時に Vectorworks サインインダイアログボックスが開きます。
5. Vectorworks アカウントをお持ちの方は、ユーザー名とパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックします。アカウントをお持ちでない場合は、「アカウントを作成」から新しいアカウントを作成してください。または各連携アカウントからサインインしてください。
6. Vectorworks ソフトウェアが起動します。

### 1-3. アップデータ有無の確認

以下の手順でアップデータの有無を確認してください。アップデータが存在する場合、必ず Vectorworks 2022 のアップデートを行ってください。

※ **アップデータダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。**

Windows : 「ヘルプ」メニュー > 「アップデートを確認」

Mac : 「Vectorworks」メニュー > 「アップデートを確認」

アップデートを自動で確認する場合は、アップデートが利用できる場合にのみ通知が表示されます。

自動確認の合間には手動でアップデートを確認できます。

詳しくは Vectorworks 2022 Help の「Vectorworks 製品を更新する」をご参照ください。

## 2. アクティベーションについて（スタンドアロン版）

スタンドアロン版は、初回起動時および、ご利用を開始してから一定期間経過すると、インターネット経由で認証サーバーへアクティベーション（ライセンス認証）を行います。アクティベーションとは、ライセンスを有効化する手続きであり、濫用を防ぐための仕組みです。インターネット経由で認証サーバーに接続し、ライセンスが有効なものかどうかを確認します。Vectorworks ソフトウェアをご利用いただくパソコンは、アクティベーションの際にインターネット接続されている必要があります。アクティベーション手続きはバックグラウンドで行われますので、お客様自身に特別な手続きを行っていただく必要はありません。

- アクティベーションの有効期間は 90 日です。最後にアクティベーションが行われた日から 90 日後（毎）にアクティベーションを行う必要があります。常時インターネットに接続して Vectorworks ソフトウェアを使用している場合は、Vectorworks ソフトウェアを起動する度、有効期間が自動更新されます。
- Vectorworks ソフトウェアを使用する上で、常時インターネットに接続しておく必要はありません。
- セキュリティが強固なネットワーク環境下では、認証サーバーとの接続がブロックされ、アクティベーションできない場合があります。このような環境下における対処方法については、以下のいずれかをご参照ください。

- インストールプログラムフォルダ > 「Document」フォルダ > 「プロキシ環境でご使用の方へ」フォルダ  
<https://www.aanda.co.jp/Activation/>

なお、この対処方法は、ネットワーク設定に関わりますので、予めネットワーク管理者の方に、ファイアウォールやプロキシサーバーの設定についてご確認ください。

- Vectorworks ソフトウェアを一度に 1 台の（ただし、1 台を越えることのない）コンピューターで運用することができます。
- アクティベーション可能な台数は、製品版は 1 ライセンスで 1 ユーザーが使用している 2 台、Vectorworks 学生単年度版は 1 ライセンスで 1 台です。
- 製品版の Vectorworks ソフトウェアは、次の 2 台のコンピューターにインストールすることができます。
  - （1） 主要なデスクトップ・ワークステーションおよび、（2） 携帯型コンピューターまたはユーザー本人の自宅に置かれたコンピューターのいずれかです。
- アクティベーションを任意のタイミングで解除することはできません。有効期間終了までお待ちください。また、Vectorworks ソフトウェアをアンインストールしてもアクティベーションは解除されません。
- アクティベーションの有効期間の確認は、ツールメニュー > オプション > 環境設定 > その他 > シリアル > ライセンス情報ボタンをクリックすると表示される「認証の期限」で、次のアクティベーション日を確認いただけます。有効期間が終了しても、再びアクティベーションを行えば継続して使用できます。

起動やアクティベーションに関するトラブルについては、p.23 の「A. よくある質問」と以下の弊社 web サイトをご参照ください。

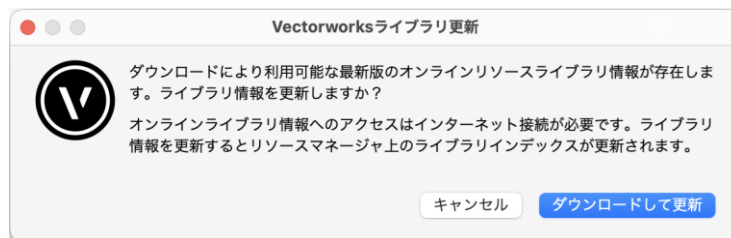
<https://www.aanda.co.jp/Activation/index.html>

### 3. オンラインリソースライブラリ情報の更新

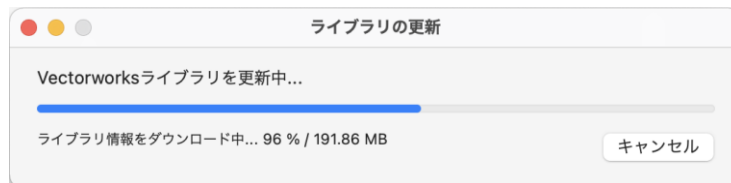
ライブラリファイルはオンラインリソースライブラリから入手することができます。

※ ライブラリの情報更新やファイルダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。

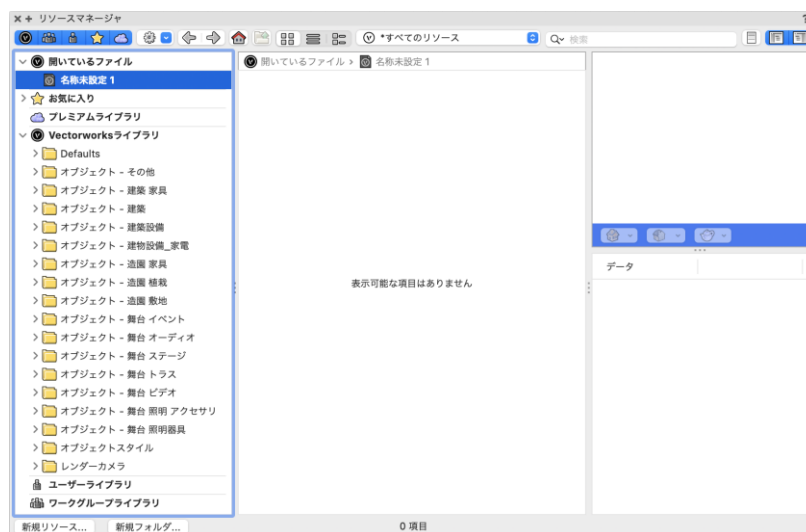
1. 初回起動時および、起動時に最新版のオンラインリソースライブラリの更新情報が存在する場合、以下のダイアログボックスが開きます。更新を行うには「ダウンロードして更新」をクリックしてください。



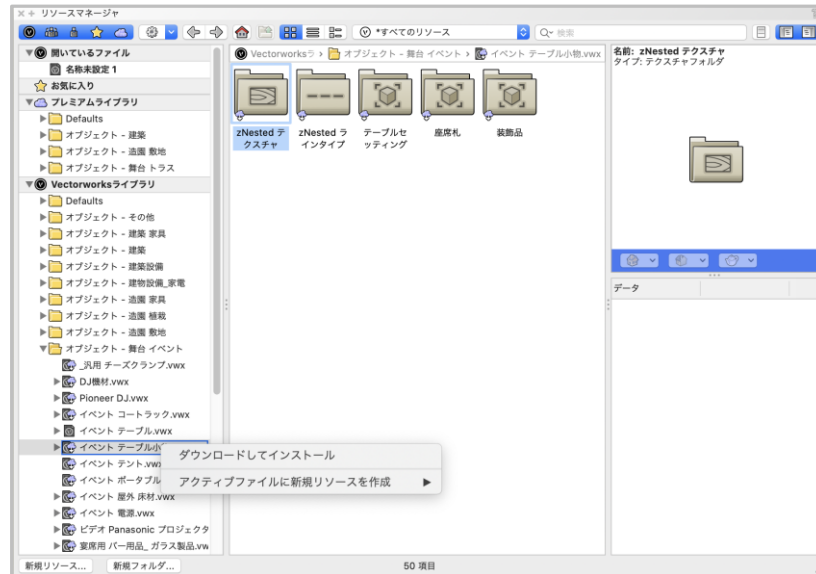
2. ライブラリの更新中です。



3. リソースマネージャのライブラリインデックスが更新されました。



### 3. 任意のライブラリファイルを選択し、ダウンロードしてください。



## 4. ライブラリファイルのインストール

ライブラリファイルは Vectorworks Package Manager からインターネット経由でインストールすることも可能です。Vectorworks 2022 のヘルプメニューの「オプションライブラリ(ダウンロード)」から任意のライブラリを選択してください。

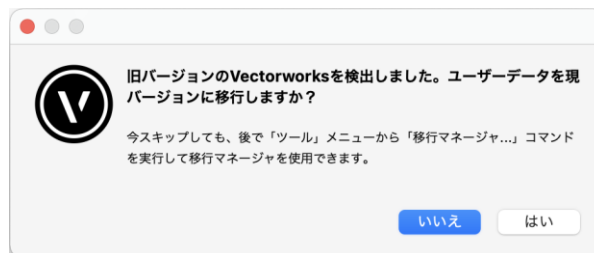
※ ライブラリのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。

## 5. 移行マネージャについて

Vectorworks ソフトウェアを初めて起動した時、移行マネージャが起動します。移行マネージャは旧バージョンの作業環境を引き継ぐことができる機能です。ユーザーのパソコンにインストールされている過去の Vectorworks を検索し、旧作業環境（バージョン）の「作業画面」、「テンプレートファイル」、「ライブラリファイル」、「リソースファイル」、「環境設定」を Vectorworks 2022 へ移行します。

移行マネージャは、初回起動時のみではなく、ツールメニュー > 移行マネージャ から任意のタイミングで実行することができます。

1. Vectorworks 2022 が起動すると移行マネージャが自動的に起動します。  
移行する場合は、「はい」をクリックします。



2. Vectorworks 移行マネージャダイアログボックスが開きます。「次へ」ボタンをクリックします。



3. 「ユーザーデータの選択」画面が表示されます。  
「ユーザーデータの移行元」に、ご使用のパソコンにインストールされている旧バージョンが表示されますので、任意のバージョンを選択後、「次へ」ボタンをクリックします。





4. 移行可能なデータが表示されます。任意のデータを選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



5. 「作業画面移行オプション」画面が表示されます。任意の移行方法を選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



6. 「移行準備の完了」画面が表示されます。「移行」ボタンをクリックします。



7. 「移行の完了」画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックすると移行が完了します。



- 詳しくは Vectorworks 2022 Help の「Vectorworks 移行マネージャ」をご参照ください。

## 6. 操作マニュアルについて

Vectorworks ソフトウェアをご利用中に、機能や操作についての情報をヘルプメニューの「Vectorworks ヘルプ」からご覧いただけます。なお、ヘルプ情報の初期設定はオンラインにて取得されるようになっていました。通信状況によりオンライン情報が取得できない環境でのご利用時や、環境設定内の設定によってオフライン情報（インストール済みのデータ）もご覧いただけますが、最新情報はオンラインにて提供しております。

## STEP4 : アンインストールについて

### 1. Vectorworks ソフトウェアのアンインストール

以下の手順で Vectorworks 関連ファイル、フォルダのアンインストールを行ってください。

なお、アンインストールを実行してもアクティベーションは解除されませんので、ご注意ください。

#### Windows :

Vectorworks 2022 をインストールすると、Vectorworks 関連のファイル/フォルダと dll がインストールされます。

以下の手順でアンインストールしてください。

#### ※ ご注意

dll は他のソフトウェアが使用している場合があり、削除するとそれらのソフトウェアが動作しなくなる場合があります。

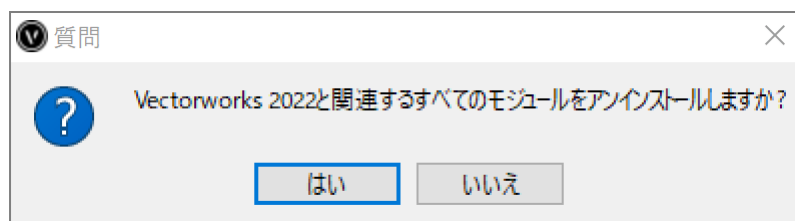
Vectorworks 以外で使用していないことが確実でない限り、削除しないことをお勧めします。

#### ○ Vectorworks

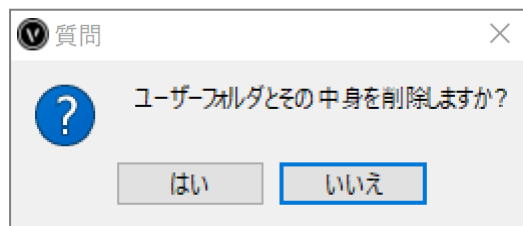
1. コントロールパネル > 「プログラムと機能」を選択してください。
2. 「Vectorworks 2022」を右クリックして「アンインストールと変更」を選択してください。



3. 確認ダイアログボックスで、「はい」をクリックしてください。



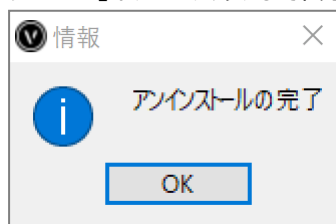
4. 確認ダイアログボックスで、ユーザーフォルダを削除するか確認を求められます。削除する場合は「はい」を、削除しない場合は「いいえ」をクリックしてください。



※ **ご注意**

ユーザーフォルダを削除すると、カスタマイズした作業環境（作業画面・環境設定・テンプレート・共有リソース・ライブラリ）が削除されます。これまでの作業環境を継続して使用したい場合は、「いいえ」をクリックしてください。

5. アンインストールが終了します。「OK」ボタンをクリックして終了してください。



6. 以下の場所にあるフォルダが残っている場合は、このフォルダを削除してください。

PC（コンピューター） > 起動ドライブ > Program Files > Common Files > 「Vectorworks 2022」

フォルダを右クリックして「削除」を選択するか、フォルダをごみ箱にドラッグします。

7. システムにインストールされた dll ファイルを削除してください。（Windows のみ）

1. コントロールパネル > 「プログラムと機能」を選択してください。

2. 一覧内の以下の項目を右クリックし、「アンインストール」を選択してください。

以下の dll ファイルはご使用の OS によってインストールされない場合があります。

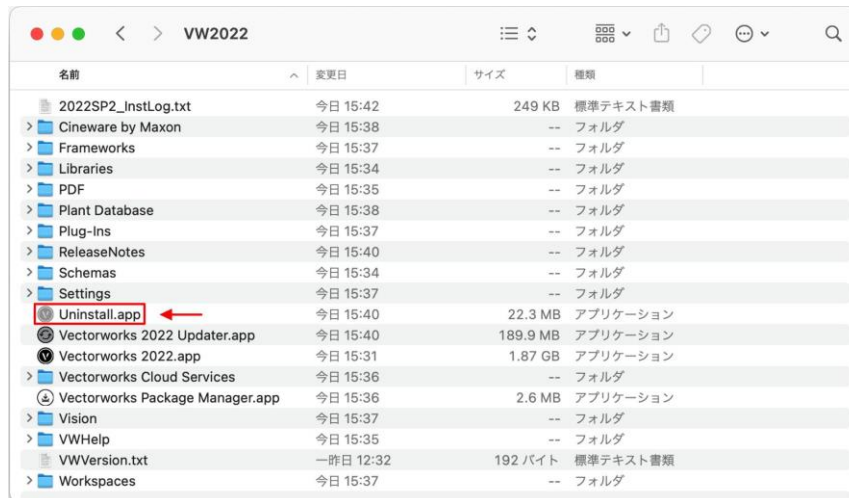
以下に記載されていて一覧に無い場合は無視してください。

- Intel(R) C++ Redistributables on Intel(R) 64
- Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x64) - 11.0.61030
- Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x64) - 14.28.29910

**Mac :**

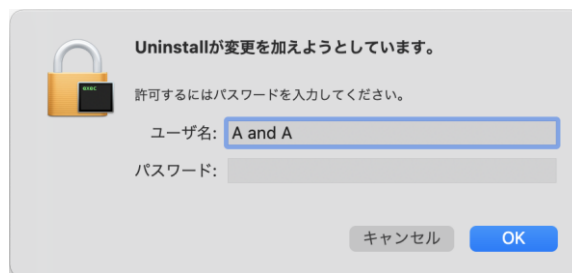
## ○ Vectorworks

1. VW2022 フォルダ内、Uninstall.app をダブルクリックしてください。

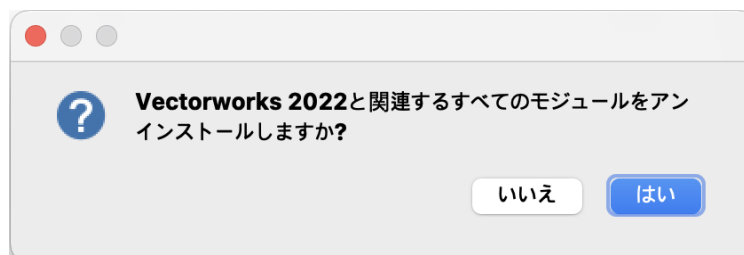


※ユーザ名とパスワードを求められることがあります。

ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。



2. 確認ダイアログボックスで、「はい」をクリックしてください。



3. 確認ダイアログボックスで、ユーザーフォルダを削除するか確認を求められます。削除する場合は「はい」を、削除しない場合は「いいえ」をクリックしてください。



**※ ご注意**

ユーザーフォルダを削除すると、カスタマイズした作業環境（作業画面・環境設定・テンプレート・共有リソース・ライブラリ）が削除されます。これまでの作業環境を継続して使用したい場合は、「いいえ」をクリックしてください。

4. アンインストールが終了します。「OK」ボタンをクリックして終了してください。



5. 以下の場所にあるフォルダを削除してください。  
起動ディスク > ライブラリ > Application Support > 「Vectorworks 2022」  
フォルダを右クリックして「削除」を選択するか、フォルダをごみ箱にドラッグします。

## A. よくある質問

Vectorworks ソフトウェアのセットアップに関してよくある質問を以下に記載いたしました。問題の解決にお役立てください。

Q	A
「インストールに失敗しました」と表示される	OS のユーザーアカウント名が2バイト文字（日本語）となっている場合に発生する場合があります。1バイト文字（半角英数）のアカウントを新規作成し、そのアカウントでログインし直した状態でインストールをお試しください。
インストールが止まる / インストーラーが強制終了する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが、インストールやアップデートを阻害することがあります。</li> <li>2. マシン管理者権限でログインした状態で、インストールをお試しください。また、フォルダやアプリケーションのアクセス権をご確認ください。アクセス権については、本ガイド内の <a href="#">p.24 の「1. Vectorworks フォルダのアクセス権」</a>をご参照ください。</li> </ol>
追加モジュール（Architect, Landmark, Spotlight, Design Suite モジュール）を購入したが使用できない	<p><b>スタンドアロン版、ドングル版の場合</b></p> <p>モジュール追加購入後は Vectorworks の再インストールを行う必要はありません。以下の方法で、シリアル番号の更新を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ツール &gt; オプション &gt; 「環境設定」を選択し、環境設定ダイアログボックスを開きます。</li> <li>2. 「その他」ペインの「シリアル」ボタンをクリックします。</li> <li>3. シリアル番号ダイアログボックスを開きます。</li> <li>4. 「削除」ボタンで現在のシリアル番号を削除し、「登録」ボタンで新しいシリアル番号を入力して登録後ダイアログボックスを閉じてください。</li> <li>5. Vectorworks を再起動してください。再起動後、追加したモジュールが利用可能になります。</li> </ol> <p><b>ネットワーク版の場合</b></p> <p>ライセンス管理プログラム側のライセンスファイルの入れ替えが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーの「セットアップガイド.pdf」をご覧ください。</p>
Vectorworks を起動できない Vectorworks の動作が不安定（頻繁に強制終了する / 極端に動作が遅い）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ご利用のパソコンが Vectorworks の必要とする動作環境を満たしているかご確認ください。</li> <li>2. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが動作を阻害することがあります。</li> <li>3. <a href="#">p.24 の「1. Vectorworks フォルダのアクセス権」</a>をご参照ください。</li> <li>4. Windows:グラフィックスドライバーを更新してください。</li> <li>5. <a href="#">p.10 の「STEP3：起動について」</a>をご参照ください。</li> </ol>
「このライセンスは許可されたマシンの最大数がアクティベートされているため、Vectorworks をアクティベーションできません」と表示され、Vectorworks を起動できない	ご利用のシリアル番号で利用可能なパソコンの台数を超えている状態です。このメッセージが表示されたパソコンでは、Vectorworks を起動できません。使用許諾契約の内容に従い、すでに Vectorworks を起動（アクティベーション）しているパソコンにてご利用ください。使用許諾契約内でご利用いただいているにも関わらず、このメッセージが表示される場合は、テクニカルサポートデスクへお問い合わせください。
Vectorworks をアンインストールしたい	<a href="#">p.19 の「1. Vectorworks ソフトウェアのアンインストール」</a> をご参照ください。

## B. 注意点

### 1. Vectorworks フォルダのアクセス権

Vectorworks フォルダのアクセス権が正しくないと正常に利用できないことがあります。Vectorworks ソフトウェアをインストールした後に、OS 上でフォルダやファイルのアクセス権を制限すると、Vectorworks ソフトウェアが正常に動作しなくなることがあります。OS で利用できるアプリケーションを制限している場合にも Vectorworks ソフトウェアが起動しないことがあります。

#### 1-1. フォルダ・ファイルのアクセス権に関する注意点

- インストールの前に、インストール先フォルダ(アプリケーションフォルダなど)のアクセス権が「読み書き可能」になっていることを確認してください。
- インストール後、Vectorworks フォルダとその中に含まれるファイルおよびフォルダのアクセス権を変更しないでください。(「読み書き可能」となっているはずですので、そのままにしてください)
- マルチユーザーの OS では、あるユーザーアカウントでインストールを行うと、別のユーザーアカウントでログインした場合に Vectorworks が利用できなくなることがあります。Vectorworks フォルダが、Vectorworks を利用するすべてのユーザーアカウントで「読み書き可能」となっていることを確認してください。

以上は、Vectorworks ソフトウェアが動作中に、各種設定などを Vectorworks フォルダ内(その下位のフォルダも含む)に保存するためであり、正しく保存されない場合は、Vectorworks ソフトウェアが正常に動作・起動しないことがあります。

#### 1-2. アプリケーションのアクセス権に関する注意点

- macOS では、ユーザーアカウントごとに、利用できるアプリケーションを制限することができます。もし Vectorworks が起動できない場合、この設定もご確認ください。
- ユーザーアカウントの設定方法や、フォルダ・ファイルのアクセス権の設定方法などは、お使いの OS のマニュアル等をご覧ください。



## C. 快適にお使いいただくために

本項目では、Vectorworksの開発元であるVectorworks, Inc.の技術情報を元に、Vectorworks 2022を快適にお使いいただくために必要な情報をまとめています。

### 1. グラフィックスコントローラについて

いくつかのVectorworks 2022の機能は、高いグラフィックスハードウェアの性能を必要とします。さらに新しいVectorworksグラフィックスモジュール (Vectorworks Graphics Module)でもたらされるグラフィックス性能・品質は、グラフィックスコントローラの数、VRAMの量、そして拡張機能に直接依存します。これらの機能は、対応したハードウェアで使用すると非常に高速かつ滑らかな操作感をもたらしますが、古い、または適合しないハードウェアで用いると、顕著に動作が遅くなります。

グラフィックスコントローラは以下の3種類があります。

- グラフィックカード：ボードタイプでパソコンの拡張スロットに増設されています。
- 単体グラフィックス：チップタイプでマザーボード上に取り付けられています。
- CPU内蔵グラフィックス：CPUと一体タイプでCPUに内蔵されています。
- ※ Windows環境でNVIDIAグラフィックスをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/06/4636/>

- ※ Mac環境でMacBook Proをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

[https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/07/4716](https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/07/4716/)

### 2. Iris、Iris Pro/Intel Iris Plus/Intel Iris Xeでのご使用について

Intel製CPU内蔵グラフィックスのIris、Iris Pro/Intel Iris Plus/Intel Iris Xe環境でVectorworks 2022をご使用になる場合は、Vectorworks 2022のグラフィックス設定を以下のように設定してください。2D描画時の安定性が向上します。

・ツールメニュー > オプション > 環境設定 > 画面 > 「グラフィックス処理を加速」のチェックをオフ

### 3. シェイドについて

OpenGLレンダリングモードは、シェイドレンダリングモードへ名称が変更になりました。MacはMetal GPUFamily1以上、WindowsはDirectX 11互換のグラフィックスコントローラをご使用ください。この要件を満たさない場合は、シェイドモードでレンダリングを実行すると機能が制限され、機能しません。

シェイドの影と輪郭のレンダリングはVRAMを大幅に使うため、最低でも2GB、できれば4GB以上のVRAMを必要とします。特に以下の機能を組み合わせて、シェイドの影や輪郭をフルに活用したいと考え、かつ、お使いのグラフィックスコントローラが、2GB未満のVRAMしか搭載していない場合は、グラフィックスコントローラをアップグレードすることをお奨めします。

- 数多くの光源
- 点光源
- イメージ/反射/透過 テクスチャ
- アンチエイリアス
- 高品質の影
- 大量の図形
- 複雑な図形

## 4. マルチビューについて

マルチビューのすべてのウィンドウを異なる表示設定で使用する場合、多くのVRAMが使用されるため、少なくとも2GBのVRAMを必要とします。また、大きなVectorworksドキュメントの場合は4GB以上のVRAMを推奨します。

## 5. VRAM (ビデオメモリ) について

Vectorworks 2022を十分に動作させるのに必要なVRAMの量は、使用するディスプレイのサイズとファイルの複雑さに依存します。標準解像度が1920 x 1080以下の中程度のサイズのディスプレイでは、少なくとも2GBのVRAMを搭載したグラフィックスコントローラを使用してください。30インチ以上などの大きいディスプレイでは少なくとも3GB以上、できれば4GB以上のVRAMを搭載した新しいグラフィックスコントローラを使う必要があります。

## 6. グラフィックスについて

### Windowsのグラフィックス環境について

NVIDIA、またはAMD製のチップを搭載したグラフィックスボードの使用を推奨します。

評価検証済みのグラフィックスボードについては、以下の弊社Webサイトの情報をご参照ください。

[https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/VW\\_QualityTestedHardware.html](https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html)

推奨しないグラフィックスコントローラについてはp.3の動作環境の「グラフィックス」欄をご参照ください。

ノートパソコン/ビジネス用デスクトップパソコンでは、単体グラフィックスを搭載した機種を推奨します。CPU内蔵グラフィックスに比べ、より高い操作感を得ることができます。

CPU内蔵グラフィックスを使用した場合、複雑で大量の図形を使用すると表示速度が低下する場合があります。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris、Iris Pro/Intel Iris Plus/Intel Iris Xeをご使用ください。その他 (Intel HD系) は、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

なお、グラフィックスコントローラの性能に依存するレンダリングモードの種類についてはp.29の「11. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存」をご参照ください。また、NVIDIAグラフィックスをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/06/4636/>

### Macのグラフィックス環境について

- Mac Pro : NVIDIA、またはAMD製のチップセットを搭載したグラフィックカードを推奨
- MacBook関連 / iMac / Mac Mini : 単体グラフィックスを搭載した機種を推奨
- ※ **やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris、Iris Pro/Intel Iris Plusをご使用ください。その他 (Intel HD系) は、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。**

また、Macbook Proをご利用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

[https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/07/4716](https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/07/4716/)

### グラフィックスドライバーについて

古いバージョンのグラフィックスドライバーを使用すると、問題が発生する場合があります。Vectorworks 2022を使用する前に、まずグラフィックスドライバーを最新のバージョンへアップデートしてください。

NVIDIAドライバー: <https://www.nvidia.co.jp/Download/index.aspx?lang=jp>

AMDドライバー: <https://support.amd.com/ja-jp/download>

## 動作確認済みのグラフィックスコントローラについて

以下のサイトで、動作確認済みのグラフィックスコントローラをご案内しています。

[https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/VW\\_QualityTestedHardware.html](https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html)

## 7. リモート環境および仮想マシン

Vectorworks 2022は、Remote Desktop、Terminal Services、VNCなどのリモートログイン環境や、Parallels、またはVMwareなどの仮想マシン環境が、通常の作業に適しているとは考えていません。これらの環境では管理者の検証やユーティリティ目的ならば使用できる場合がありますが、インタラクティブな画面上の動作速度が低下します。Vectorworks 2022は、Mac上のBoot Campでの動作をサポートしています。使用するハードウェアで適切、かつ最新のドライバーを使用してください。

## 8. OS

### アップデートについて

リリース時にご案内しているOS（オペレーティングシステム）のバージョンを最低動作環境として推奨します。

OSに起因する問題が発見された場合には、問題解決の最初の手順として、OSのアップデートをお願いする場合があります。

### 32bit OSについて

Vectorworks 2022は64bitアプリケーションです。32bit OSには対応しておりません。

## 9. 動作の最適化

- 大容量のファイルと複雑なレンダリングモードを用いて作業する場合、最低でも16GBのメモリを搭載して使用することを強く推奨します。メモリの容量が不足すると、Vectorworks 2022は仮想メモリを使用することで動作し続けますが、ハードディスクにアクセスするため動作速度は著しく低下します。また、メモリの容量が極端に不足すると、十分なメモリ容量があれば完了する操作の場合にもエラーが発生する場合があります。
- 高速なハードディスクドライブを使用することで、仮想メモリ使用時にシステムの動作速度を若干向上させることができます。
- CPUのクロック速度が高速であるほどVectorworks 2022の操作感が向上します。
- インストールに必要なハードディスクドライブの容量は、プログラムのみで10GB必要です。オプションライブラリのインストールには、さらに31GB必要となります。オプションライブラリの一部をインストールしないことで、容量を削減することができます。

## 10. プロジェクト共有機能とネットワーク回線の速度

ネットワークを通じてプロジェクト共有作業を行う場合、Vectorworks 2022のパフォーマンスはネットワーク回線の速度に左右されます。ネットワーク回線速度が十分でない場合は、プロジェクトファイルに変更を反映させる操作やローカルのワーキングファイルの更新操作など、ネットワーク越しに大量のデータを送信するような操作を実行すると、速度が低下します。最低でも100Mbpsの速度のネットワーク回線の使用を推奨します。大きなプロジェクトの場合は、高速で、滑らかな動作を得るために、1Gbpsの速度のネットワーク回線を強く推奨します。遅いネットワーク環境でも、大量のデータを送信する操作を最小限に抑えることで十分ご使用いただくことができます。

※ **プロジェクト共有機能は、Fundamentalsでは利用できません。**

クラウドストレージを使用するプロジェクト共有には、高速インターネット接続（50Mbps以上）が必要です。この共有方法は、小規模なチームや小規模なプロジェクトで効果的です。大規模なチームや大規模なプロジェクトにはお勧めできません。プロジェクトの共有には一般的に高速ネットワーク接続が必要ですが、ネットワークを介して大量のデータを転送する操作（プロジェクトファイルへの変更の反映やローカルの作業ファイルの更新など）を最小限に抑えることで、十分な操作感が提供されます。DropboxでLAN同期を有効にすると、速度が大幅に向上することが期待できます。これは、プロジェクト共有のためのクラウドベースの共有ソリューションとして推奨されます。

異なる帯域幅およびプロジェクトファイルサイズに対する反映および更新動作中のデータ転送時間の例を下の図に示します。

プロジェクトファイルサイズ	ネットワーク回線速度 (ダウンロード/アップロード)	反映/更新 データ転送時間
100MB	50Mbps	～20s
	100Mbps	～10s
	1Gbps	～1s
500MB	50Mbps	～100s
	100Mbps	～50s
	1Gbps	～5s
1GB	50Mbps	～200s
	100Mbps	～100s
	1Gbps	～10s

## プロジェクト共有サーバー 2022 動作環境

	Windows	Mac
OS	Windows 10 (64bit) Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) Windows Server 2012 (64bit) ※32bit OS は非対応	macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra) macOS 10.12 (Sierra)
	※プロジェクト共有サーバーは、ネットワーク接続ストレージ (NAS) デバイスなどの Docker をサポートする任意のシステムにもインストールできます。 上記以外の OS 対応状況については、弊社 Web サイト ( <a href="https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html">https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html</a> ) をご確認ください。	
CPU	Intel Core 2 Duo 以上	
メモリ	4GB 以上	
ネットワーク環境	推奨：1Gbit/s のイーサネットネットワーク (最小：100Mbit/s のイーサネットが必要です。アップロード時は最低 50Mbit/s)	
	同一 LAN 上で共有する場合、サーバーベースの共有を推奨します。 プロジェクト共有サーバーが使用するネットワークポートをファイアウォールで許可する必要があります。デフォルトのポートは 22001 です。 ネットワークは HTTP 1.1 standard をサポートする必要があります。	
その他	フラッシュストレージ (SSD) にインストールすることで動作速度が向上します。 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 ※ プロジェクト共有機能は、Fundamentals では利用できません。	

## 11. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存

Renderworksレンダリングでは、Maxon社製のCinewareエンジンを使用しています。Cinewareは完全に64bit化されているため128GB以上のメモリや、Renderworksレンダリングモードでマルチコア（複数CPUコア）を活用することができます。シェイド、ワイヤーフレーム、隠線レンダリングはCinewareエンジンを用いていないため、Renderworksレンダリングほどメモリを消費しません。

下表に、レンダリングモードの種類と、レンダリング操作を行う際にプロセッサ（CPU）を使用するか、グラフィックスコントローラ（GPU）を使用するかを示しています。

レンダリングモード	グラフィックスコントローラ(GPU)	プロセッサ (CPU)
2D / ワイヤーフレーム	使用	使用- シングルコアで動作
シェイド	使用	不使用
隠線	不使用	使用- マルチコアで動作
仕上げポリゴン / シェイドポリゴン	不使用	使用- シングルコアで動作
簡易Renderworks / 仕上げRenderworks / カスタムRenderworks	不使用	使用- マルチコアで動作

上表からわかるように、グラフィックスコントローラのリソースを使用するレンダリングモードはシェイドとワイヤーフレームのみです。他のレンダリングモードはグラフィックスコントローラに依存しないため、グラフィックスコントローラをアップグレードしても、シェイドとワイヤーフレーム以外ではレンダリング速度や品質は向上しません。

(注意：レンダリングモードではありませんが、グラフィックスコントローラは2D/平面ビューおよび、通常の2Dナビゲーショングラフィックスに直接影響します)

逆に、各種Renderworksレンダリングモードは主にCPUを使用し、マルチコアを使用することができます。このため、これらのモードでレンダリング速度を向上させるには、より上位のCPUにすると効果的です。

ワイヤーフレームモードは、グラフィックスコントローラのアップグレードと、よりパワフルなCPUの両方で効果がありますが、グラフィックスコントローラに依存する度合いが高くなります。

## 12. Redshift動作環境

Redshift by Maxonは、GPUを使用してレイトレーシングを効率的に実行します。Redshiftには、次の特定のシステム要件があります。

### Redshift 動作環境

	Windows		Mac	
OS	Windows 10 (64bit)		macOS 11.3 (Big Sur)以降	
CPU	最小	SSE2 対応のプロセッサ (Pentium4 以上)	最小	Apple M1
	推奨	3.0GHz 以上の Intel Core i7 または Xeon または、それと同等のもの	推奨	・3.0GHz 以上の Intel Core i7 または Xeon または、それと同等のもの ・Apple M1
メモリ	最小	8GB	最小	8GB (CPU が M1 の場合は 16GB)
	推奨	16GB	推奨	16GB
グラフィックス	最小	8GB 以上の VRAM を搭載した CUDA5.0 以上の NVIDIA の シングル GPU	最小	Apple M1 もしくは 8GB 以上の VRAM を搭載した AMD Navi あるいは Vega のシングル GPU
	推奨	10GB 以上の VRAM を搭載した CUDA7.0 以上の NVIDIA の マルチ GPU	推奨	Apple M1 もしくは 8GB 以上の VRAM を搭載した AMD Navi あるいは Vega のマルチ GPU

	<p>macOS11.3 以降でサポートされている AMD GPU のリスト</p> <p>MacBook Pro</p> <p>Radeon Pro Vega 16/20</p> <p>Radeon Pro 5500M/5600M</p> <p>iMac</p> <p>Radeon Pro Vega 48</p> <p>Radeon Pro 5500XT/5700/5700XT</p> <p>iMac Pro</p> <p>Radeon Pro Vega 56/64</p> <p>MacPro</p> <p>Radeon Pro Vega II / Vega II Duo</p> <p>Radeon Pro W5500X/W5700X</p> <p>Radeon RX 6800/6800XT/6900XT</p> <p>Thunderbolt eGPUs</p> <p>Radeon RX Vega 56/64</p> <p>Radeon Pro WX 9100</p> <p>Radeon VII</p> <p>Radeon RX</p> <p>5500/5500XT/5600XT/5700/5700XT</p> <p>Radeon RX 6800/6800XT/6900XT</p>
--	--

※記載されている情報は2021年10月現在のものです。

### 13. 高解像度ディスプレイについて

Mac には Retina ディスプレイや 5K ディスプレイを、Windows には 4K ディスプレイを搭載している機種があります。これらの機種で Renderworks レンダリングを行うと、画面の解像度に合った高精細なレンダリングを行うことができます。反面、生成するピクセル数が多くなるため標準的なディスプレイと比較すると 3~4 倍のレンダリング時間が必要となります。Mac の Retina、または 5K ディスプレイを搭載している機種で Renderworks レンダリングを高速化したい場合は、Vectorworks 2022 アプリケーションアイコンを Ctrl キー+クリックしてコンテキストメニューから「情報を見る」を選択し、「低解像度で開く」をチェックしてください。チェックすることにより標準的な解像度でレンダリングされるようになり、レンダリング時間を抑制することができます。

## D. 各フォルダ/ファイルの役割

ファイル / フォルダ	役割
Vectorworks 2022 (.app/.exe)	ソフトウェア本体です。
Plug-Ins (フォルダ/.vsm/.vst/.vso 他)	Vectorworks ソフトウェア専用のプラグインが入っています。Vectorworks ソフトウェア本体と同じ階層上に必要です。
Workspaces (フォルダ/.vww)	ツール、メニューの構成が記載された作業画面 (Workspaces) が入っています。Vectorworks ソフトウェア本体と同じ階層上に必要です。
VWHelp (フォルダ/.xml 他)	Vectorworks ヘルプと VectorScript Function Reference が [html]形式で入っています。
Libraries (フォルダ/.vwx 他)	「リソースマネージャ」で利用するライブラリファイルが入っています。また、定型化したクラスとレイヤを含むテンプレートファイル、新規ファイルを開いた時に使用するテンプレートファイルが入っています。
Plant Database (フォルダ)	植栽のデータベースが入っています。(Design Suite、または Landmark をご利用の場合のみ使用可能です。)
InstLog.txt (書類)	Vectorworks ソフトウェア、プラグインなどをインストールした記録 (ログ) が入っています。
その他のファイルやフォルダ	それぞれ Vectorworks ソフトウェアが利用するファイルやフォルダです。

### ※ ご注意

「Plug-Ins」フォルダと「Workspaces」フォルダ、その他インストールされた書類は"絶対に"必要なものです。これがないと、Vectorworks は起動しません。



## E. 技術情報関連

Vectorworks ソフトウェアを快適にご使用いただくための情報や、出荷時点での既知の障害、仕様上の制限事項をご案内いたします。

最新の情報は、弊社 Web サイトにて、随時ご案内しています。

イーアンドエー Web サイト : <https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html>

以上  
イーアンドエー株式会社  
2023.01.17

- 
- Vectorworks, Renderworks, MiniCAD は、Vectorworks, Inc. の登録商標です。
  - Braceworks, SmartCursor, VectorScript は、Vectorworks, Inc. の商標です。
  - Apple, Mac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
  - Microsoft, Windows またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国および他の国における登録商標または商標です。
  - Adobe, Acrobat は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
  - その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
  - 本書に記載されている一部または全部を無断で転載する事は禁止されています。
  - 本ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。